

平成29年度 前期 学校評価 報告②

八幡浜市立保内中学校

H29年7月実施 回答数：教職員20名 生徒262名 保護者257名

回 答 (A)あてはまる (B)だいたいあてはまる (C)あまりあてはまらない (D)あてはまらない

肯定評定 $\frac{\text{<(A)+(B)>}}{\text{<(A)+(B)+(C)+(D)>}} \times 100$

評 価 80%以上…A 60%～80%…B 60%未満…C

項目	別	質問内容	回答数(人)					肯定 (%)	評価	肯定 (%)	項目 評価	
			(A)	(B)	(C)	(D)	?					
2 支え合う仲間 集団づくりの 推進	(5)	教職員	学級や部活動が、いじめがなく、支え合ったり励まし合ったりする集団となるよう工夫している。	5	13	1	1		90.0	A	90.9	A
		生徒	学級や部活動などは支え合ったり励まし合ったりする雰囲気ができている	166	77	18	1		92.7	A		
		保護者	学校は、いじめのない(学校)学級づくりや部活動経営に取り組んでいる。	72	139	23	3	20	89.0	A		
	(6)	教職員	生徒とかかわりを多くもち、生徒の悩みに気付き、相談に応じている。	6	12	2	0		90.0	A	91.4	A
		生徒	先生は、生徒が友達をいじめたり仲間はずれにしないように正しく指導している。	185	60	15	2		93.5	A		
		保護者	先生は、お子さんの心配事や悩みに気付き、相談に応じている。	65	138	19	6	29	89.0	A		
	(7)	教職員	人間関係に配慮し、孤立生徒をつくらない集団づくりに努めている。	7	12	1	0		95.0	A	88.3	A
		生徒	あなたは、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。	192	37	22	11		87.4	A		
		保護者	お子さんには、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。	107	107	19	8	16	88.8	A		
	考察・ 対応策等	<p>(5) 高い評価ではあるが、教員の「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が1名ずついる。生徒間の小さな問題が起きたことを重く受け止め、低い評価としたと考える。生徒は「あてはまる」と答えた割合がおよそ65%と高い評価となっており、統合初年度の人間関係がうまくいっていると考えられる。今後もチーム保内で「いじめ」のない集団づくりに取り組んでいきたい。</p> <p>(6) 高い評価ではあるが、教員の「あまりあてはまらない」が2名いる。「まだやれる」と高い水準で考えている結果であると捉えたい。定期的な教育相談はもちろんだが、チャンス相談の機会を多く取り、生徒の悩みに気付き、相談に応じる体制を今以上に整えていきたい。</p> <p>(7) 高い評価ではあるが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた保護者・生徒がともにおよそ30名いる。新しい集団づくりの指導は難しい面があるが、道徳や学活、部活動など学校生活全般を通して指導していきたい。</p> <p>(総) 統合により、生徒間の仲間づくり、集団づくりが心配されたが、全体的に高い評価となった。今後も複数の目で生徒一人一人にしっかり目を配りながら、学校生活の様々な場面で支え合う仲間づくり、集団づくりを推進し、保護者・生徒を含めた全員が肯定評価となるよう努力していきたい。</p>										